



米国における 茶を楽しむ文化と 輸出の可能性

日本茶の最大の輸入国は米国です。日本から2010年に輸出した茶の量は2232トン、このうち5割強の1336トンを米国に輸出している。一方、米国の茶の輸入量は11万トン(2009年)、この10年で1万トンほど増えています。また、国内の緑茶の消費量は近年急激に増え、お茶全体の2割を占めるまでになっています。健康に良いという理由で広く認められるようになってきています。茶道も高い評判を得ており、茶の知識を熱心に追求し始めた人々もいます。

今年、原発事故による放射能の飛散の影響をお茶も受けました。私たちは、日本茶の評価が高まっている米国に茶を輸出するに当たり、確かな品質と茶を楽しむ文化という二つの面をさらに追究していく必要があります。

このシンポジウムでは、米国における緑茶の位置づけ、将来の姿を、お茶を楽しむ文化と緑茶に求める価値の両面から考えます。

当日は米国で売られている緑茶のパッケージの実物や売り場の写真等を展示いたします。



2012年
2/14 (火)
13:30~17:00

静岡産業大学
藤枝キャンパス
ウィステリアホールにて
静岡県藤枝市駿河台4-1-1

公共交通機関のご案内

～JR東海道線「藤枝駅」北口から静岡鉄道バスで行く方法～

※大学構内の駐車場は数に限りがございますので、公共交通機関でのご来学をお願いします。

駿河台線「藤枝市立総合病院」行き乗車10分、「藤枝市立総合病院」下車、徒歩2分

藤枝吉永線「藤枝市立総合病院」行き乗車10分、「静岡産業大学」下車、徒歩1分

※駿河台線と藤枝吉永線がございます。どちらかをご利用ください。

基調講演 13:40～15:10

「米国における茶の消費動向とお茶を楽しむ文化・現状と将来」
パール・デクスター (TEA A MAGAZINE編集長・発行人)

パネルディスカッション 15:20～17:00

「米国における緑茶の位置づけ、将来の姿」

パネラー 谷本 宏太郎 吉野 亜湖 白井 満
(日本茶輸出組合副理事長) (日本茶道塾) (静岡県経済産業部茶業農産課長)

コーディネーター 堀川 知廣 (静岡産業大学O-CHA学研究センター長)

◆受講料 500円 ◆定員(先着順) 110人

申込方法 裏面をご覧ください。

申込締切 平成24年2月6日(月)

お問い合わせ先 静岡産業大学情報学部 O-CHA学研究センター
TEL:054-646-5448 FAX:054-646-5461

個人情報の取り扱い シンポジウムにご応募の際にお伺いする個人情報は、静岡産業大学情報学部で実施する事業(参加者名簿の作成、シンポジウム開催に関する連絡及び情報提供)で利用します。また、受講申込者の同意がある場合及び行政機関等から法令等に基づく要請があった場合を除き、当該個人情報の第三者への提供又は開示を致しません。ご提供いただきました個人情報を正確に処理するように努めます。

シンポジウム「米国における茶を楽しむ文化と輸出の可能性」

参加申込書

| | | | |
|-------|--|----|-----------------------------|
| ふりがな | | 性別 | <input type="checkbox"/> 男性 |
| 氏名 | | | <input type="checkbox"/> 女性 |
| 住所 | 〒 | | |
| 電話番号 | () | — | |
| FAX番号 | () | — | |
| ご職業 | <input type="checkbox"/> 会社員・団体職員 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 教員 <input type="checkbox"/> 公務員(教員以外) <input type="checkbox"/> 主婦 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> その他() | | |

※太枠は必ずご記入ください。

申込方法 (以下のいずれかの方法でお申し込み下さい。)

FAX

静岡産業大学 情報学部 O-CHA 学研究センター
「シンポジウム 米国における茶を楽しむ文化と輸出の可能性」係

054-646-5461 (番号のお間違いが無いようご注意ください。)

郵送

〒426-8668 藤枝市駿河台4-1-1 静岡産業大学 情報学部 O-CHA 学研究センター
「シンポジウム 米国における茶を楽しむ文化と輸出の可能性」係

※参加申込書はコピーでもかまいません。

電子メール

表題「シンポジウム 米国における茶を楽しむ文化と輸出の可能性」

o-chagaku@ssu.ac.jp

持参

参加申込書の必要事項(記入欄)を記入し、情報学部 O-CHA 学研究センター
(エクステンションセンター)窓口を持参してください。

※参加申込書はコピーでもかまいません。

申込締切 2月6日(月)

このシンポジウムを何で知りましたか？

- | | | |
|-------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 大学からの案内・HP | <input type="checkbox"/> ポスター・チラシ | <input type="checkbox"/> 新聞 |
| <input type="checkbox"/> 広報誌 | <input type="checkbox"/> 知人紹介 | <input type="checkbox"/> その他() |

個人情報保護について

シンポジウムにご応募の際にお伺いする個人情報は、静岡産業大学情報学部で実施する事業(参加者名簿の作成、シンポジウム等の開催に関する連絡及び提供)で利用します。また、受講申込者の同意がある場合及び行政機関等から法令等に基づく要請があった場合を除き、当該個人情報の第三者への提供又は開示は致しません。ご提供いただきました個人情報を正確に処理するよう努めます。